

北臨技

NEWS



一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
北臨技 NEWS No.410 2026.7.27
TEL:011-786-7071/FAX:011-786-7073
http://www.hokuringi.or.jp

令和 8 年度 北臨技新体制における今後の活動方針について

令和 8 年 6 月、新たな北臨技体制が発足しました。新体制では、会員の皆様が「北臨技に加入していて良かった」と実感できる組織づくりを目指し、これからの臨床検査技師を取り巻く環境の変化に対応した活動を推進してまいります。

今後の北臨技活動における重点課題として、「組織力の強化」「学術活動の充実」を掲げ、令和 8 年度は具体的な取り組みについて議論を進めていきます。組織面では、近年注目されている病棟検査技師の推進に向け、導入施設での取り組みや課題を共有し、北海道全体で支援できる体制づくりを検討します。また、地区との連携強化にも取り組めます。北海道にはさまざまな規模の施設があり、一人職場や



少人数職場など、それぞれ異なる課題があります。地区理事を中心とした意見交換や地区連携会議を通じて会員の声を積極的に収集し、より多くの会員が北臨技活動へ参画できる環境づくりを進めます。さらに、次世代を担う人材の育成と組織の活性化を目的として、各地区の次世代を担う若手・中堅世代による交流・意見交換の場を新たに設けることを検討しています。このメンバーにより、今後の北臨技の在り方や地区会の在り方・役割、会員がより主体的に参加できる組織づくりについて議論を行い、将来の北臨技を支える人材育成につなげていきます。学術面では、臨床検査の品質保証・精度保証体制の充実を重要課題として位置づけ、臨床検査標準化事業の立ち上げや新たな組織体制について検討します。また、北海道全体の学術活動をさらに発展させるため、地区を越えた学術部門の在り方や現行体制の再構築についても議論を進めます。これらの活動を実現するためには、北臨技と各地区会が果たす役割を明確にするとともに、必要な事業内容や予算について具体的に検討することが重要です。限られた財源の中で、将来にわたり充実した活動を継続するため、既存事業の見直しも含めた持続可能な運営体制の構築を進めていきます。

新体制では、会員の皆様のご意見を大切にしながら、北海道の臨床検査技師会として、より魅力ある組織づくりと臨床検査の発展に貢献できる活動を推進してまいります。

(北臨技 会長 品川 雅明)

+++++

第251回北臨技講習会(病理細胞部門)終了報告

令和 8 年 7 月 4 日(土)に札幌医科大学にて本講習会「細胞診講習会～初心者のための鏡検実習型講習会 2026～」を開催し、道内各地域から 39 名の方にご参加いただきました。

本講習会は、初心者向けとして企画・案内しており、今回は婦人科、消化器、体腔液、甲状腺、泌尿器領域の 5 分野を題材とした基礎講義を行った後、実習指導講師のもと、顕微鏡を用いて実際の細胞診標本の観察を行いました。参加者はグループに分かれ、各テーブル内をローテーション方式で鏡検することにより、限られた時間で情報を整理するという認定試験に近い臨場感を体験していただきました。実習形式ということで参加者から講師へ気軽に質

問することができたこと

もあり、アンケート結果においてもすべての回答者より「とても満足」、「おおむね満足」との評価を得ることができました。また、自施設ではなかなか体験する機会が限られる「他施設の標本を見る」という点においても、参加して良かったという多くのお声をいただきました。講習会後の懇親会も開催され、今後勉強していく上での仲間づくりとしても有益であったと思います。今後も、参加者の皆様の貴重なご意見を参考に、有益な講習会を企画していきますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが本講習会に尽力いただきました実務委員の皆様および参加者の皆様への感謝とともに本稿を締めさせていただきます。

(北臨技 病理細胞部門長 佐々木 敏洋)

10月31日～11月1日は岩見沢に集まりましょう！

第 98 回北海道医学検査学会 in 空知

第 98 回北海道医学検査学会は、臨床検査の未来を多角的に探究する充実したプログラムで構成されています。一般演題は 77 演題を揃え、最新の研究成果と地域医療を支える実践的知見の共有が期待されます。さらに、教育講演・文化講演をそれぞれ 2 演題ずつ設け、専門性の深化と学術文化の発展を両立させました。加えて、臨床検査の新たな可能性を拓くポシビリティセミナー、実践的知識を深めるランチンセミナー、気軽に参加できるスイーツセミナーなど、多様な学びの場を提供します。また、小中高生向けの検査技師アピールセッションを設け、次世代育成にも力を注ぎます。本学会は、検査技師の専門性と社会的価値を再確認し、北海道の医療をさらに前進させる重要な機会となり、地域医療の発展に寄与する場となります。皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております！！

(北臨技 副会長 和田 直樹)

